

2005年9月7日
住友化学株式会社

タンザニアにおけるオリセツト® ネット増産について

住友化学は、マラリアを媒介する蚊を防除し感染を予防するために、独自技術により防虫剤を練り込んだ蚊帳「オリセツト® ネット※」を開発し、タンザニアの蚊帳メーカーに技術を無償供与し現地生産体制を整えてきましたが、この度、この工場の生産能力増強や新たに現地メーカーとの合弁会社による新規工場の建設などにより、生産能力を増強することといたしました。これらにより、タンザニアでの年間生産能力は、今年度内に現在の200万張り/年から800万張り/年となる計画です。今回の能力増強により現地で多くの新規雇用が見込まれるため周辺地域の経済活性化にも貢献できるものと期待しています。

現在、世界では年間3億人がマラリアを発症し、100万人以上が亡くなっていますが、その大部分がアフリカで発生し、アフリカでは30秒に1人の割合で子供が犠牲になっています。こうした深刻な状況を一刻も早く改善するため、世界保健機関（WHO）などが中心となって2010年までにマラリアによる死亡率を現在の50%に半減させることを目標に、ロール・バック・マラリアキャンペーン（マラリア防圧キャンペーン）を展開しています。

これまで、当社はこのキャンペーンに協力し「オリセツト® ネット」を提供してきましたが、キャンペーンの浸透と共に長期残存型の防虫剤処理蚊帳の必要量が急速に拡大していることに対応するために今回のタンザニアにおける増産を決定しました。今回の増産を含めた世界での「オリセツト® ネット」の生産能力は現在の700万張り/年から2,000万張り/年に増加します。今後、さらに多くの蚊帳が必要になるとの予測もあるため、当社はさらなる増産についても検討を進めてまいります。

※ WHOが認定する唯一の長期残効型の防虫剤処理蚊帳（LLIN）

【ご参考】 合弁会社について

- ・会社名称 Vector Health International Limited（ベクター・ヘルス・インターナショナル・リミテッド）
- ・出資比率 住友化学株式会社 50%、Net Health Limited（ネット・ヘルス・リミテッド） 50%
- ・所在地 タンザニア連合共和国 アルーシャ市
- ・事業内容 「オリセツト® ネット」の生産
- ・設備能力 年間 420万張り/年
- ・設立時期 2005年9月予定
- ・操業開始 2005年度中

以上